

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：頸椎における Paravertebral Foramen Screw (PVFS)

挿入の解剖学的適応評価：CT 画像による三次元構造解析

1. 研究の概要

Paravertebral Foramen Screw (PVFS) は、従来のペディクルスクリュー(CPS)や外側塊スクリュー(LMS)に代わる低侵襲で安全性の高い固定方法として注目されている。頸椎における PVFS の応用は報告が限られており、特に椎骨動脈や神経根との解剖学的関係の明確化が臨床応用において極めて重要です。Kim ら（2019 年）は、頸椎の外側塊および椎弓根の関係を CT 画像で詳細に解析し、C3～C6 レベルにおいて PVFS の挿入が安全である可能性を報告しました。また、Tsuda ら（2022 年）は、PVFS、CPS、LMS の比較により、PVFS 挿入経路での骨密度が高く、スクリュー長径は約 10 mm、短径は約 4.5 mm であると報告しています。これらの知見は PVFS 挿入のガイドとなり得るが、三次元的な骨構造や安全マージンを詳細に評価した研究は少ないのが現状です。本研究では、頸椎（C3～C7）における PVFS の適応可能性を CT 画像にて三次元解析により評価し、適切な挿入角度・長さ・安全マージンを明らかにすることを目的としています。

【研究責任者】

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 亀井 直輔

2. 目的

本研究の目的は、頸椎（C3～C7）における PVFS の適応可能性を CT 画像にて三次元解析により評価し、適切な挿入角度・長さ・安全マージンを明らかにすることを目的とします

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2026 年 12 月 31 日まで

4. 対象者

2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に本院整形外科を受診され、脊椎手術のために術前検査として全脊椎 CT を受けられた方が対象となります。

5. 方法

本研究で収集するデータは対象患者さんの基本データ（年齢、性別、身長、体重、BMI、受傷機転）や通常診察時に施行する血液検査およびレントゲン・CTであり、本研究のために特別な機器やデータ収集は行いません。また、試料の採取は行いません。

① 基本情報(初診時年齢、性別、身長、体重)

② 全脊椎CT、頸椎CT

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院整形外科

氏名 松本尊行

電話：0985-85-0986

FAX：0985-84-2931